

平成27年度学校評価実施報告書

次のように学校評価を実施しましたので報告いたします。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>(1) 学力向上と生徒の進路希望に応じた科目選択ができるように生徒理解を深める。</p> <p>(2) 国際教育の学習内容を充実する。</p>	<p>(1)①進路第一希望の実現を目指して、生徒の学力向上を目指した授業展開をはかる。あわせて「ステージショップ」、「先輩セミナー」、外部講師を招いた講座などを積極的に開講する。</p> <p>②多様な進路希望に応じた個別面談、進路ガイダンスの充実を図る。</p> <p>(2)「国際教育」の定着と深化を図る。「海外修学旅行」の準備と実施にあたっては、全学年が教科横断的に取り組む。</p>	<p>(1)生徒が自らの進路希望に沿った科目選択ができ、学習に積極的に取り組む姿勢ができたか。 (生徒による授業評価)</p> <p>(2)海外修学旅行に向けて、他文化への理解が深まったか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年生は進路と次年度の科目選択についての説明会、3年生は進路説明会を実施した。夏休み前の三者面談において、生徒と保護者の希望を聞き取り、アドバイをした。</li> <li>・1,2年生対象に「国際教育に係る講演会」を実施した。また、2年生は、総合的な学習の時間で各国研究に取り組んだ。</li> <li>・長期留学の生徒に対する支援を行った。また、留学を希望する生徒に対する相談等の支援を行った。</li> <li>・海外からの体験留学希望の申し出があり、適切に対応した。</li> <li>・ステージショップにおいて教養講座やセンター試験対策講座など多岐にわたる講座を50開講し、延べ800人以上の生徒の申し込みがあり、ニーズに応えることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業中に行われる学校見学等への積極的な参加を促す働きかけが必要である。</li> <li>・ステージショップは、部活動との関係で欠席する生徒への対応が求められる。</li> <li>・生徒・保護者への進学に関する情報提供の方法に今後も工夫が必要である。</li> <li>・国際教育に関して、計画的な講演の実施や、研究発表など、生徒の意識啓発への取り組みを継続したい。</li> </ul>	<p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のニーズに沿った「ステージショップ」が開講されており、学力の定着、向上に役立った。</li> <li>・3年間という短い期間にありとあらゆる手段を駆使し、生徒に適切な選択をさせてほしい。</li> <li>・例年になく、指定校推薦で合格した実績を評価する。</li> <li>・海外修学旅行における成果について、異国の地に降り立ち異文化に触れるという基本的な目標が達成でき、生徒達には、大変貴重な経験になったと思う。</li> <li>・海外留学の支援、留学生の受け入れは、対象者個人はもちろん、それに関わることができた生徒にとっても有意義な経験だと思ふ。更に多くの生徒が異文化に触れる機会を作っていただけことを期待する。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上を目指した日々の授業展開を工夫することができた。</li> <li>・学力向上推進に向けた「ステージショップ」の取り組みについて、講座数も参加人数も前年度に比べ増加し、生徒の期待に応えることができた。</li> <li>・国際教育について、計画的な事業及び教科横断的には取り組みが見られ充実が図れた。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ステージショップ」について、講座期間中の、部活動との調整について改善が必要である。</li> <li>・進学や勉強方法等について、今後さらなる情報提供や指導の充実が必要である。</li> <li>・国際教育について、各事業及び教科横断的な取り組みをさらに高めるための調整が必要であるとともに、体系的に内容をまとめることも求められる。</li> </ul>

<p>コミュニケーション能力の育成のと、生徒を抱える様々な課題の理解支援環境を整える。</p>	<p>①社会のルールやマナーを尊重した生活習慣と行動様式を確立するために、生徒会活動、委員会活動を活性化し、生徒の自主性、責任感、社会性、倫理観を育成する。 ②個々の生徒に対応したケース会議を開催し、カウンセリングを活用した早期の生徒支援を推進する。</p>	<p>学校行事等で、中心的な役割をする生徒が活躍できたか、また、カウンセリング事業の活用ができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭、文化祭等の活動を通して、生徒たちの多くは達成感、充実感を味わった。</li> <li>・個人及び三者面談を通して生徒一人ひとりが抱える問題を早期に発見し、スクールカウンセラーを活用した教育相談等を行い問題解決に努めた。</li> <li>・生徒からの教科等の質問に迅速に対応するために職員室前にホワイトボードを設置し、適宜活用したことが有効であった。</li> <li>・生徒の安全意識と防犯意識を高めるため、組織的な取組を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期に行事が集中しているため、生徒同士の人間関係を作る期間が集中してしまい、職員が様子を見てアドバイスするタイミングを逸してしまう場合がある。</li> <li>・在校生はもちろんのこと、入学前から課題を持った生徒に対して、保護者も含めてのカウンセリング等のさらなる充実が必要である。</li> <li>・生徒の防犯意識を高めるために、LHRや学年・全校集会等を通して、組織的な取組のさらなる検討が必要である。</li> </ul>	<p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面談や日常生活において、生徒の個性に合った生活指導や進路指導がなされた。</li> <li>・生徒が先生に質問している光景をよく目にするようになった。職員室前にホワイトボード等を設置した試みを評価する。</li> <li>・コミュニケーション能力が3年間で培われれば、今後色々な場面で自身につながると思う。</li> <li>・生徒一人ひとりに多くの教員の目が配られているので大きな事件、事故がなく過ごせているように思う。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自主的活動の推進や、生徒会活動・部活動の活性化を図ることができ、規範意識の向上がみられた。</li> <li>・スクールカウンセラーの有効活用が図れたが、個別には問題解決に至らないケースもあり、今後、さらなる教育相談の充実が必要である。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切なアドバイスをするために多方面からの多岐にわたる情報収集に努める。</li> </ul>
<p>(1)身につけた基礎・基本的な知識・技能を活用する機会を増やす。 (2)学習活動における言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力等の能力を身につけさせる。</p>	<p>(1)①生徒一人ひとりが自ら考え、表現する力を養い、学ぶ喜びを味わう授業展開を工夫する。 ②公開授業や研修会の開催、授業改善、少人数授業等の充実を図る。 (2)言語活動の充実による授業の工夫改善を、教科を横断した取組みとして研究する。</p>	<p>(1)授業改善は推進されたか。また、公開授業、研修会の参加者状況はどうか。 (生徒による授業評価) (2)授業における生徒の発表の機会が増え、情報発信ができるようになったか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価を実施し、各教科で内容を振り返り、授業研究に取り組んでいる。</li> <li>・授業中の発表など、言語活動を取り入れている。</li> <li>・総合的な学習の時間を中心に、情報発信能力の伸展を図った。</li> <li>・教員の指導技術の共有化のために、定期試験の共通化に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科によっては、説明が多くなり、生徒自身の発表が少なくなる場合がある。従来の授業展開から脱却し、改善していく必要がある。</li> <li>・公開授業や研究授業を実施することによって、課題解決に向かい組織的に対応する必要がある。</li> </ul>	<p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい授業が工夫されており、ほとんどの生徒が授業内容に満足している。学力向上進学重点校のエントリー校の指定を受け、現状に満足することなく更に一層向上する意欲を育ててほしい。</li> <li>・学力向上進学重点校にエントリーしたことを評価する。これを機に組織的授業改善に一層取り組まれることを期待する。</li> <li>・大学進学において、生徒はもちろん、保護者にも難関校に挑戦させる気持ちを持ってもらえるような働きかけを期待する。</li> <li>・横浜平沼高校に入学したことで安心してしまっている生徒が多いと聞いている。力があるのだから、気持ちを奮立たせるような指導をお願いしたい。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価では全般的に高い評価を得ることができた。</li> <li>・生徒の進路実現に向けた授業展開について、更なる検討が必要である。</li> <li>・言語活動について、各教科で授業改善等の工夫が見られた。さらなる活性化に向け、討論やプレゼンの充実等について検討する必要がある。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動について、討論やプレゼンなどの程度の時間をかけることができるかを、年間指導計画に絡めて考える。</li> </ul>

<p>(1) 生徒のキャリア発達を支援する。</p> <p>(2) 学校行事や部活動、委員会活動、ボランティア活動における生徒の自主的・主体的な活動を促進する。</p>	<p>(1)「個」を生かすキャリア教育の推進に取組むため、個人面談、進路ガイダンスの充実を図る。</p> <p>(2)学校行事や部活動、委員会活動、ボランティア活動において自己の役割を認識し職務を遂行する。また、その交流を通して、自己および他者を理解する。</p>	<p>(1)取組みを通じて、生徒のキャリアへの意識が育成できたか。(生徒アンケート)</p> <p>(2)部活動への参加率、ボランティア活動への参加者が増えたか、また、活動内容を発表することでできたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先輩セミナーを開催し、生徒のキャリア発達を支援することができた。</li> <li>・進学講演会などにおいて、外部講師による講演会を受講した後の振り返りを丁寧にを行った。</li> <li>・生徒の委員会活動を通して、自主性、責任感を育成することができた。</li> <li>・部活動、ボランティア活動などで、他者と関わることにより人間関係形成能力を醸成できた。</li> </ul> <p>キャンパスナビゲーターを希望する生徒が増え、説明会などでも高い評価を得ることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路の手引きの積極的な活用について、学校として組織的な取り組みが必要である。</li> <li>・校内の保健衛生活動と環境の向上を目指し、保健委員会と環境整備委員会の活動をさらに活性化することが必要である。</li> <li>・生徒が学校行事や部活動等を、より自発的に取り組み、自分の役割を自覚するとともにさらなる自主性、責任感、社会性、倫理性を育成することが重要である。</li> </ul>	<p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先輩セミナーが充実しており、キャリアの意識付けに役立っている。</li> <li>・生徒の選択肢を増やすために、先輩セミナーの講師は一人ではなく複数の人で実施するほうがよい。</li> <li>・大学訪問のために事前シートを活用して訪問ポイントを整理させておく取組は良い。</li> <li>・体育祭や平沼祭（文化祭）において、生徒一人ひとりが自分の役割を理解し、自発的に生き生きと取り組んでいた。</li> <li>・学校行事全般の取組も良いが、平沼小学校との連携はとても素晴らしいと感じている。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献活動によりボランティアスピリットの意識高揚が見込めた。</li> <li>・先輩セミナー等によりキャリア活動の活性化が図れた。</li> <li>・多岐に渡る部活動の成果の充実が図れた。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア形成に関して、先輩セミナー等事業の後、面談等で生徒の関心を汲み上げる。</li> <li>・地域貢献活動を通じてボランティアに対する意識が高まってきたので、今後、継続するために議論を深め、改善すべきところは改めていく。</li> </ul>
<p>地域との連携事業を推進し、地域とともにある学校づくりを進める。</p>	<p>①地域の核となる学校づくりの視点で、マナーアップ運動や地域貢献活動、ボランティア活動などに取り組む。</p> <p>②保護者や地域住民等と協働・連携した教育活動・防災活動を立案し、実施する。</p>	<p>(1)マナーアップ運動や地域貢献活動に全校で取組めたか。</p> <p>(2)地域の方と連携した事業が計画・実施できたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献活動などにより、社会における問題や自己の役割を理解する契機となった。</li> <li>・PTA活動を推進した。また、担当者と連携し、ホームページの充実を活性化を図ることにより、リアルタイムでの情報発信に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動をさらに活性化するとともに、掲示板等を活用し、学校の情報を地域に発信し、地域とともにある学校づくりを推進するように努める。</li> <li>・学校への期待にこたえ、地域住民を守る立場で行動できる生徒の育成に努める。</li> </ul>	<p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献活動を通し、地域の方に見守られていることに対する感謝の気持ちを育てほしい。</li> <li>・学区のない高等学校で地域での貢献活動を視点においた活動は素晴らしい。</li> <li>・掲示板は見づらいので、配付物は一部ずつ配付していただけたらありがたい。</li> <li>・PTAと連携し、講演会を開催することで、キャリア支援、コミュニケーションのとり方について、保護者と情報を共有することができた。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献活動や地域主催の清掃活動に取組むことで、地域との協働・連携が深まった。</li> <li>・地域との連携強化により、今後の更なる協力体制の充実が見込める。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のマナー向上に向けて、職員が積極的に声かけをするように努める。</li> <li>・学校への期待にこたえ、地域住民を守る立場で行動できる生徒の育成を目指すため、生徒の意識改革に努める。</li> </ul>

<p>(1) 事故・不祥事防止に向けての研修会を実施し、意識を高める。 (2) 防災対策を一層強化し、的確な判断のもと行動できる訓練を行う。</p>	<p>(1) 各種手法を取り入れて、定期的に事故防止会議を企画・実施する。 (2) 大規模災害を想定した防災活動マニュアルの検討を行い、より実効性のあるマニュアルを整備する。</p>	<p>(1) 職員のサービスの徹底や公明で厳正な業務の遂行はできたか。 (2) 実効ある防災マニュアルが整備できたか、また不断の見直しをしているか。(防災マニュアルと防災訓練)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に沿って、研修を実施し、生徒の安全を守り、職員の事故防止にも取り組んでいる。</li> <li>・防災・津波訓練を2回実施し、課業期間中の対応と、放課後の対応について確認し、防災への意識の向上を図った</li> <li>・学校防災アドバイザーの派遣により、防災活動、避難訓練等における指導・助言をいただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の命を守るための研修も実施し、職員の意識作りに取り組む。</li> <li>・職員の事故防止研修は、今後、さらなる実効性が期待できる研修ができるよう工夫する。</li> <li>・学校防災アドバイザーからの指導・助言を今後の防災対策に活用していくようにする。</li> </ul>	<p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長の強いリーダーシップのもと、しっかりと取り組んでいたと思う。引き続き、事故防止に関する取組みを推進してほしい。</li> <li>・今後も“事故はある”という前提で対応を検討いただきたい。</li> <li>・地域の防災拠点になり得る立地条件をふまえ、地域と連携した防災訓練等を充実させてほしい。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権、事故防止等について講演や取組みの充実を図った。</li> <li>・事故・不祥事防止に向けた研修の充実により、職員の意識が高まった。</li> <li>・素点、出欠に関する確認を行うなど、ミスを発見する体制を整え、成績に関する事故防止に努めた。</li> <li>・私費会計を厳正に行い、事故防止に努めた。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急法などの研修を通して、職員の意識作りに取り組んでいるが、さらにより実際に即した訓練など、工夫が必要である。</li> <li>・職員の事故防止についても継続的な啓発活動が必要である。</li> </ul>
--	---	--	---	--	--	---